

# <問い合わせ状況 2021年8月>



## ● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。8月の疑義照会は7件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認
- 日数調整
- 追加処方希望
- 他院との重複処方
- 代替薬への変更 (2件) : 薬の流通が不安定なことによる処方薬の入手困難。  
1件は代替薬へ、もう1件は規格変更で対応しました。
- 院外処方せんの紛失

## ● 薬に関する問い合わせ(患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

8月はお問い合わせが2件ありました。

- 分包のやり直し : 退院時に1包化した薬を受診科ごとに分けて1包化したい
- レクサプロと便秘について



## ● 薬に関する問い合わせ(院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。8月は記録したもので9件でした(病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎がついたものについては回答をDI ニュース No. 439 に記載しています。

- 透析患者へプレタールを使用する際はどうすれば良いか?
- レムデシビルと抗体カクテル療法は併用可能か?
- ◎エベレンゾから赤血球造血刺激因子製剤(ESA)への切り替え方法は?
- ◎自己導尿カテーテルの消毒液の交換頻度は?
- FEC療法後に使用したジーラスタで投与1~2週間後に発疹が出るか?
- 透析患者へのゾシンの投与量は?
- ◎MRSA腹部感染症に使用する薬剤について
- エムガルティ皮下注処方時の注意事項は?
- ◎ベネットとフォサマックの違いは?



TOKYO  
OLYMPICS  
2020

